

平成16年4月1日

各位

株式会社 三井住友銀行

### 平成16年度新入社員入行式頭取訓辞要旨

本日、三井住友銀行頭取 西川 善文 は、平成16年度新入社員入行式において、下記の要旨の訓辞を述べました。

#### 記

1. 銀行経営にとっても、これからが正に正念場。昨年夏以降、民間設備投資の増加、株式相場の好転など、明るい材料は増えつつあるが、いまだデフレ経済からの脱却には至っておらず、わが国経済の発展と国民生活の向上に貢献していく為には、自らの経営や業務運営のあり方について、従来のパラダイムを抜本的に転換していく必要がある。しかしながら、こうした状況の時こそ更なる発展への絶好の機会である。厳しい環境を克服するため、当行のあらゆる英知を結集していく中で、これまでにない新しいアイデアや方策が生まれ、それを実行し完遂することで、単なる難局の打開を超えた新たな発展が可能になる。

2. 新入社員に期待すること

大きな夢を持ち、実現に向けて努力しつづけること

三井住友銀行という大きな舞台に立たれた皆さんの前には、無限の可能性が広がっている。是非大きな『夢』を持ち、その夢を絶対に実現するという強い信念を持って、着実に日々為すべきことを積み上げていって欲しい。

サービス業としてお客様のニーズ・変化に柔軟に対応し常に進化していくこと

これまでの常識や成功体験は必ずしも通用しない。サービス業としてお客様のニーズに応え、感動を与えるためには、「銀行はサービス業である」という原点に立ち返り、従来にない着眼点や柔軟な発想、創造力といったものが強く求められる。あらゆることに興味を持ち、「自分だったらこうする」という発想を日々蓄え、機会を捉えて実践し、常に進化して頂きたい。

3. 結び

「為さざるなり、能わざるに非ざるなり」という孟子の言葉がある。これは、「出来ないのは、才能や能力がないからではない。単にやろうとしていないだけだ」ということである。柔軟な発想と旺盛な行動力で何事にも積極的に挑戦し、これからの三井住友銀行を築き上げ、自らも大きく成長して欲しい。

以上